

兵庫2030年の展望

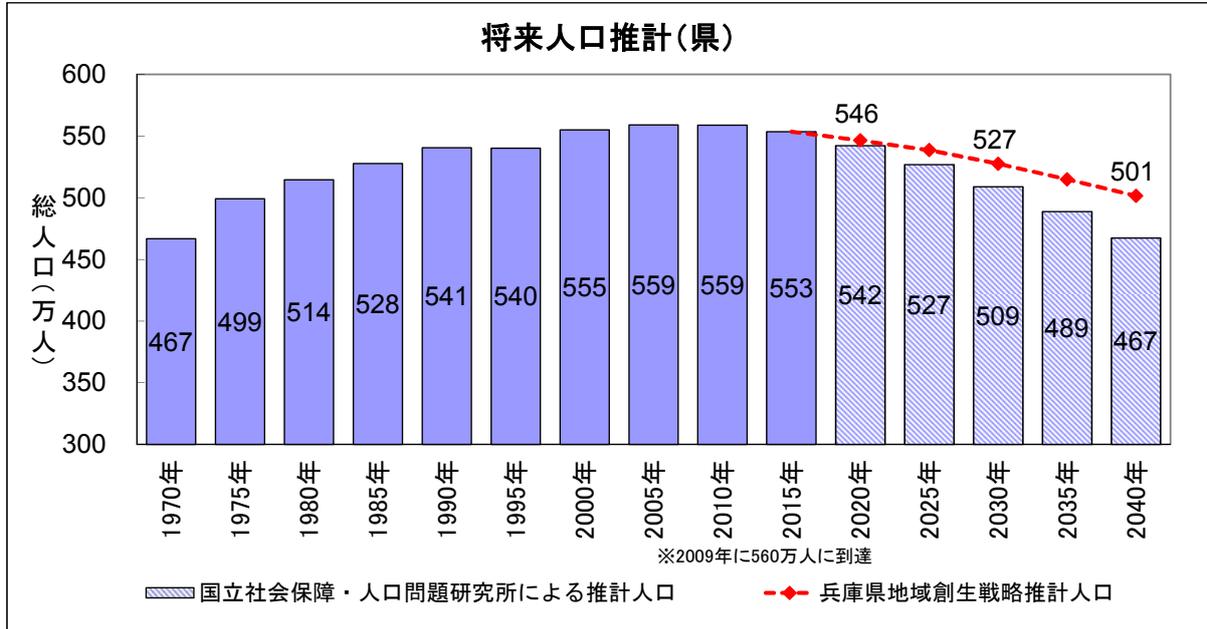
～未来を考える素材～

平成29年3月15日

人口減少の加速

総人口の減少

- 県の人口は、2009年をピークに減少局面に突入
- 2030年には509万人まで減少（2015年比8.1%減）、兵庫県地域創生戦略の推進により527万人（2015年比4.7%減）をめざす



出典: 2015年までは総務省国勢調査、2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(2013年3月)」および兵庫県地域創生戦略推計

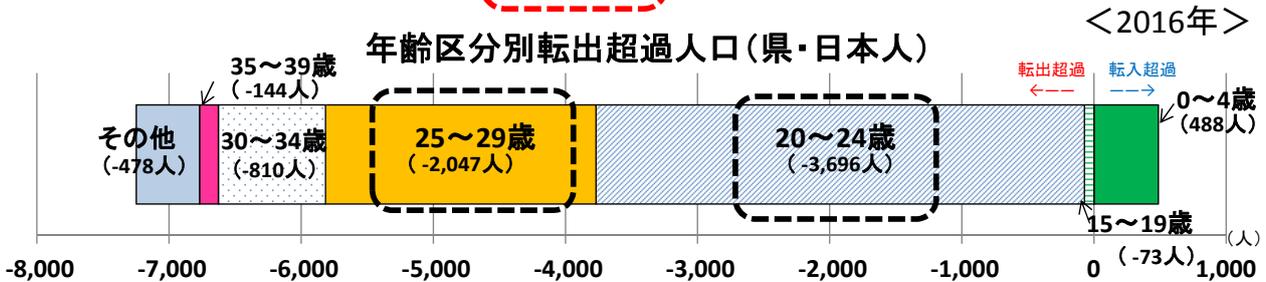
人口の社会移動

- 2012年以降、転出超過が継続
- 20～24歳と25～29歳の転出超過が多い
- 東京圏に大幅な転出超過

転出入の状況(県・日本人)

区分	2000	2011	2012	2013	2014	2015	2016
転入	116,950	93,085	90,850	88,382	86,390	87,946	85,933
転出	114,640	91,851	92,145	93,596	93,482	95,355	92,693
転入超過	2,310	1,234	▲1,295	▲5,214	▲7,092	▲7,409	▲6,760

年齢区分別転出超過人口(県・日本人)



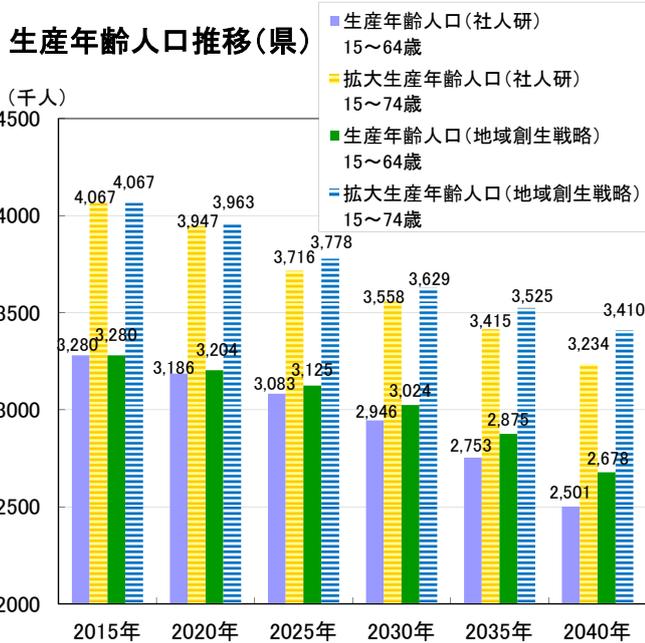
地域別転出超過の状況(県・日本人)



出典: 総務省「住民基本台帳人口移動報告」

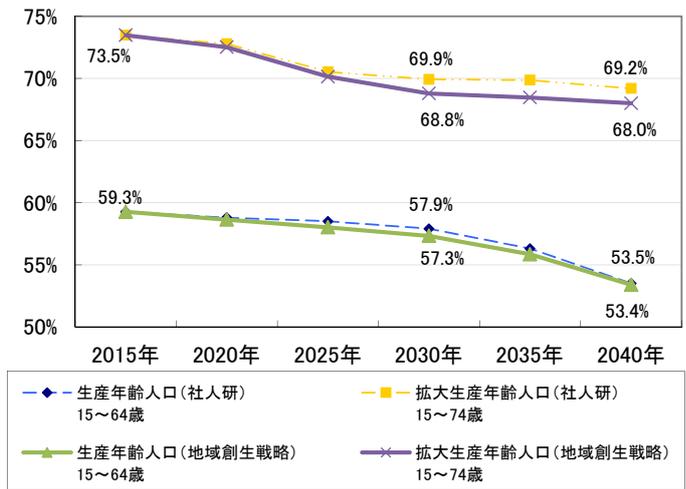
生産年齢人口（元気な高齢者）

- 現在の定義の生産年齢人口（15～64歳）は、2030年には社人研による推計で295万人（全人口の58%）に。地域創生戦略の推進により300万人台維持をめざす
- 元気な高齢者が増加している中で、生産年齢人口を15～74歳に拡大した場合、生産年齢人口の割合は2040年にかけて70%近くを維持（1960年代後半と同水準）



※社人研: 国立社会保障・人口問題研究所による推計人口
地域創生戦略: 兵庫県地域創生戦略による推計人口

生産年齢人口の全人口に占める割合(県)

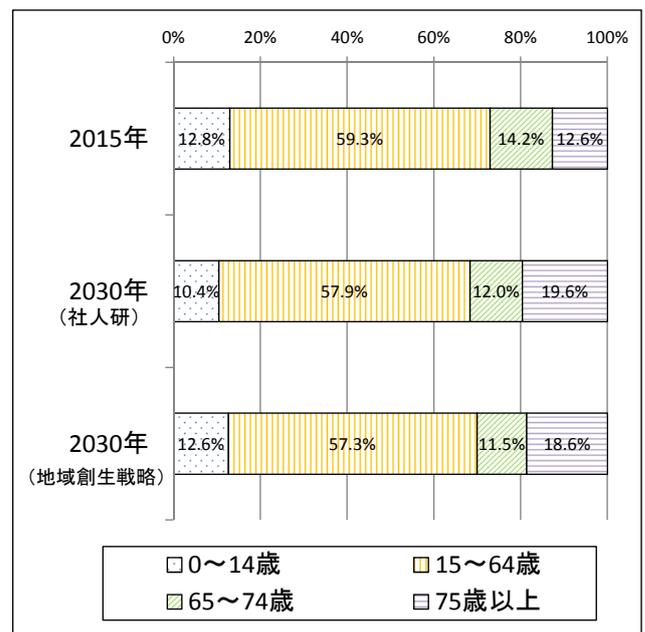


出典: 2015年は総務省「国勢調査」、2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(2013年3月)」および兵庫県地域創生戦略推計

5

年齢別人口・比率 (全県)

- 2030年には3人に1人が高齢者、5人に1人が75歳以上に
- 地域創生戦略の推進により2030年にかけて0～14歳人口割合の現状維持をめざす



※社人研: 国立社会保障・人口問題研究所による推計人口
地域創生戦略: 兵庫県地域創生戦略による推計人口

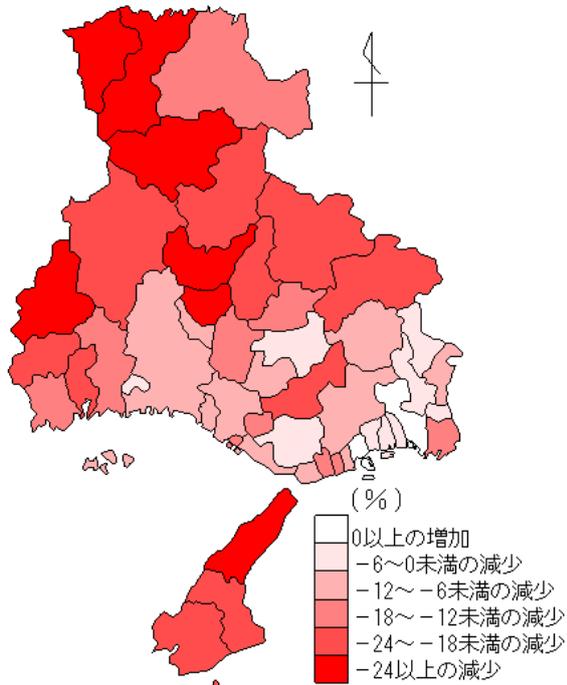
出典: 総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(2013年3月)」、兵庫県地域創生戦略

6

人口の偏在化

- 佐用町、新温泉町、香美町、神河町で25%以上の減少が見込まれる
- 都市部では、西宮市で0.5%増加する一方、尼崎市では15.2%減少するなどばらつき

2010→2030 総人口の増減 (%)



出典: 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(2013年3月)」

減少が大きい市区町

- 1位 佐用町 (30.2%減)**
- 2位 新温泉町 (29.6%減)
- 3位 香美町 (29.1%減)
- 4位 神河町 (25.7%減)
- 5位 養父市 (24.5%減)

減少が小さい市区町

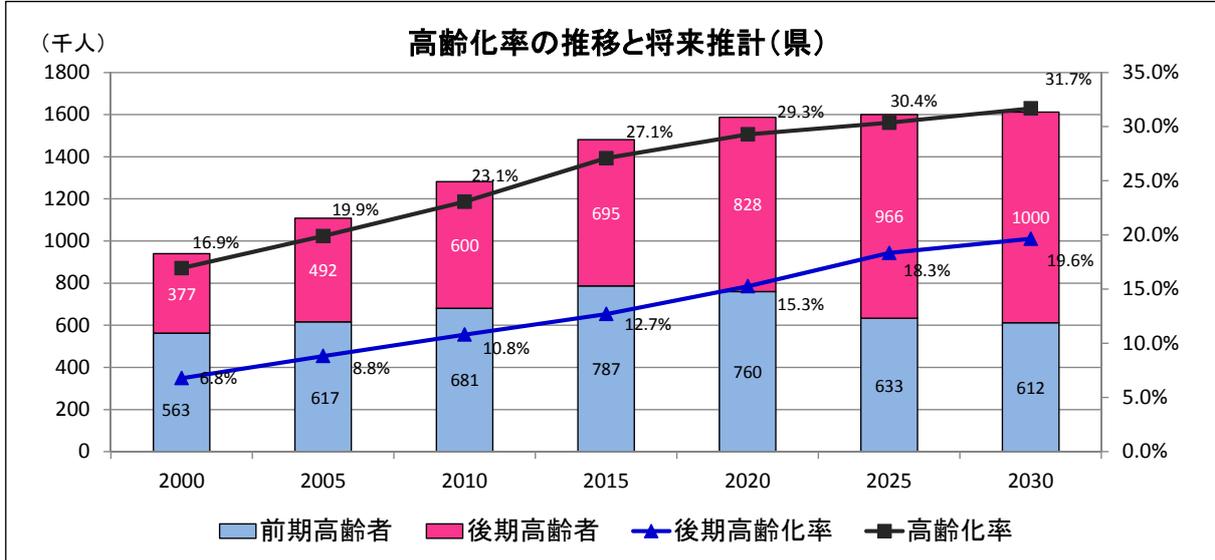
- 1位 神戸市中央区 (4.4%増)**
- 2位 西宮市 (0.5%増)
- 3位 神戸市灘区 (1.0%減)
- 4位 太子町 (1.1%減)
- 5位 神戸市西区 (1.1%減)

7

超高齢化・長寿化

高齢者の増加

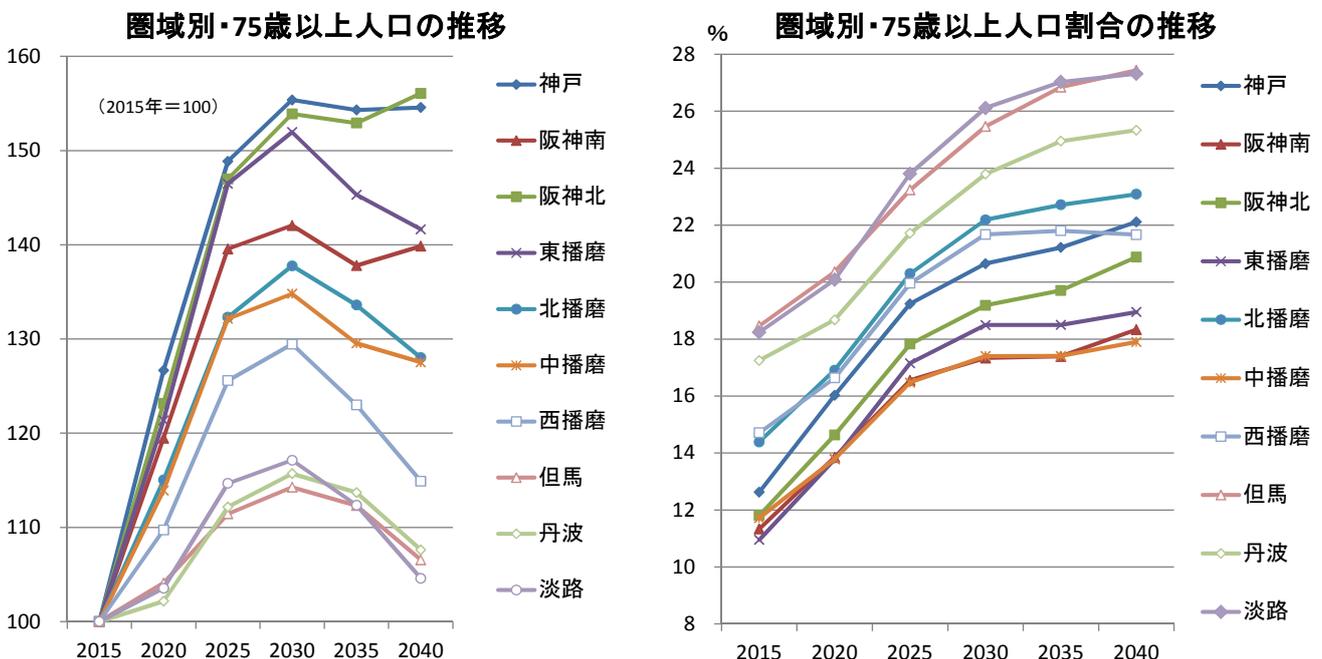
- 県内の高齢者人口（65歳以上）は、2015年から2030年にかけて13万人増加する見込
- 65～74歳人口は17万4千人減少。75歳以上の人口は30万5千人増加。2030年には全人口の5人に1人が75歳以上に



出典：2015年までは総務省「国勢調査」、2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(2013年3月)」

75歳以上高齢者数の推移（圏域別）

- 2030年に、多くの圏域で75歳以上人口がピーク
- 2040年には、但馬、丹波、淡路で75歳以上が人口の4分の1を上回る

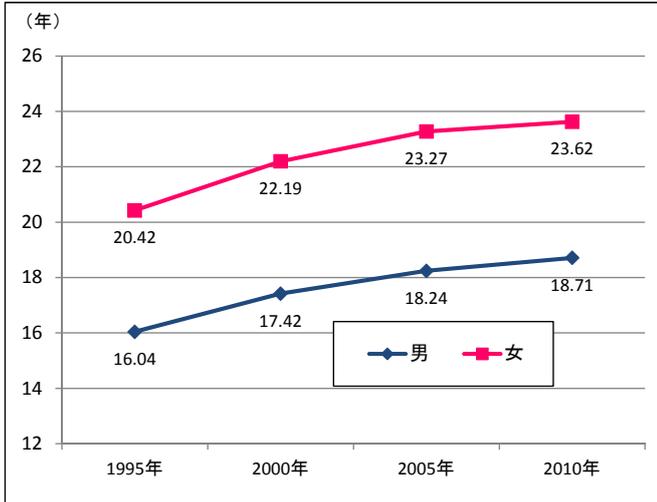


出典：2015年まで総務省「国勢調査」、2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(2013年3月)」

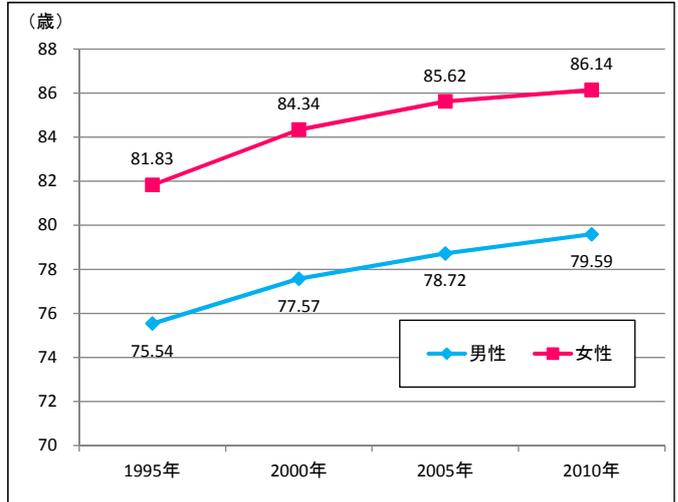
平均余命と平均寿命

○ 県の平均余命（65歳時点）および平均寿命は男女とも着実に伸長。将来的にもその傾向は続く見込

65歳時点平均余命の推移(県)



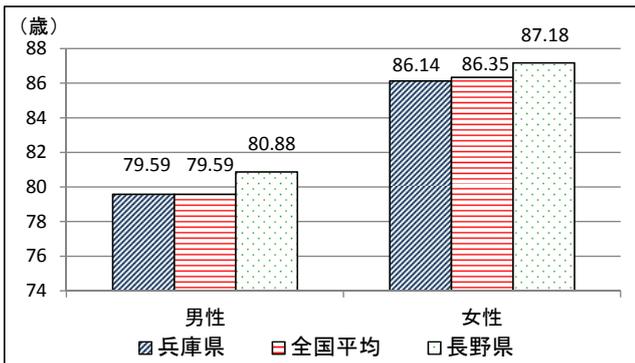
男女別平均寿命の推移(県)



出典：厚生労働省「都道府県別生命表」

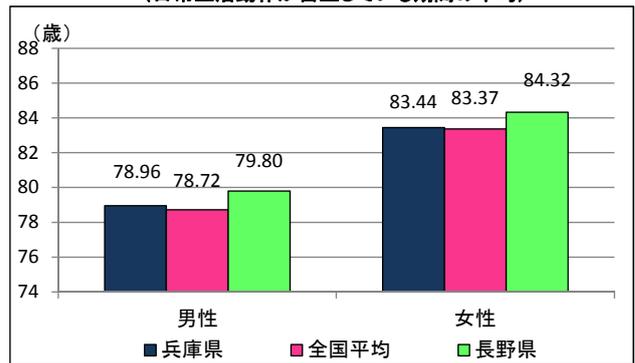
健康寿命

平均寿命(平成22年 県・全国・長野県比較)



出典：厚生労働省「平成22年都道府県別生命表」

健康寿命(平成25年 県・全国・長野県比較)
(日常生活動作が自立している期間の平均)



出典：厚生労働科学研究班「健康日本21(第二次)の推進に関する研究班」

圏域別健康寿命(県)

	全県	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路
男性	78.47	78.61	78.26	80.07	78.45	78.71	77.25	77.60	78.17	77.86	77.39
女性	83.19	83.14	82.78	84.18	83.00	83.67	82.67	82.94	83.68	83.12	82.76

※圏域ごとの比較を行うため、厚生省算定方法に基づいた形で2009年～2011年度分のデータから県独自に算定

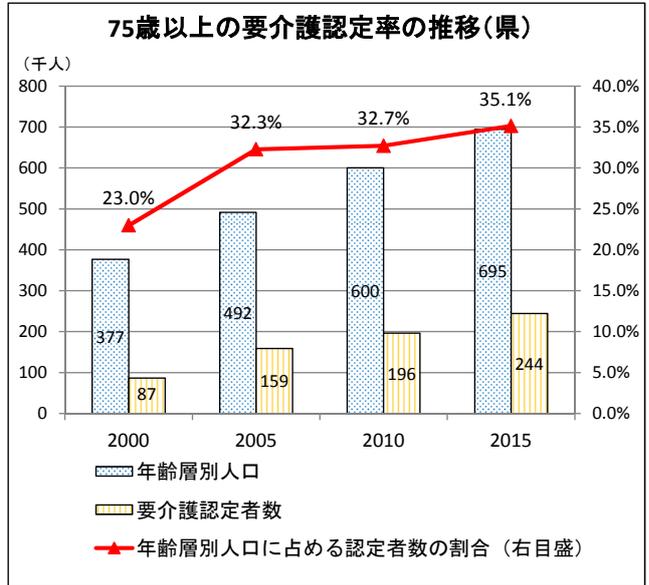
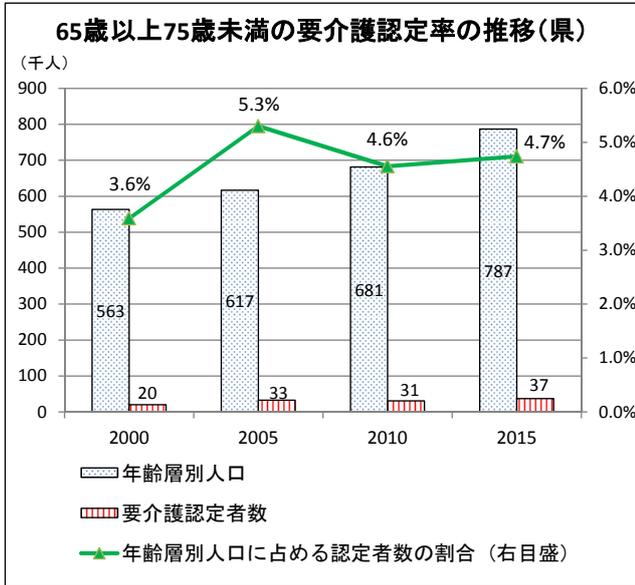
※厚生省算定の「0歳の日常生活動作が自立している期間の平均」の兵庫県値とは異なる

出典：兵庫県「兵庫県健康づくり推進実施計画」

○ 健康寿命は全国で最も長い長野県に比べ約1年短い
○ 圏域別では、阪神北が男女ともに最も長い

要介護認定者の増加（1）

- 県内の65歳以上75歳未満の要介護認定率は、2010年から2015年にかけて微増
- 75歳以上は上昇

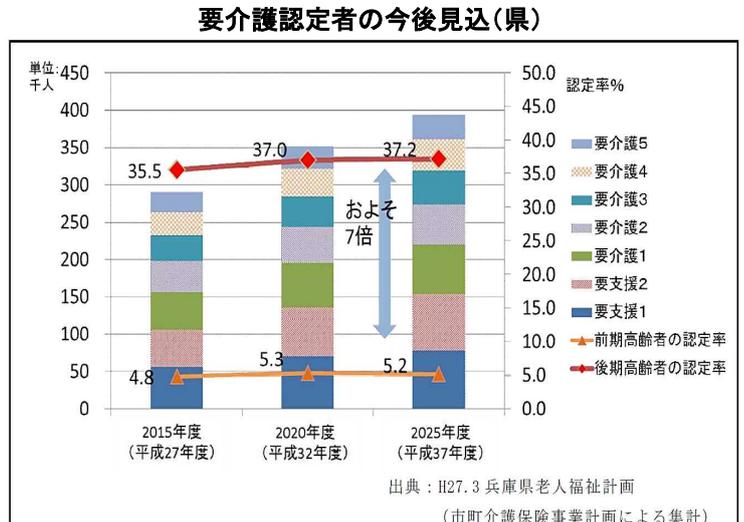
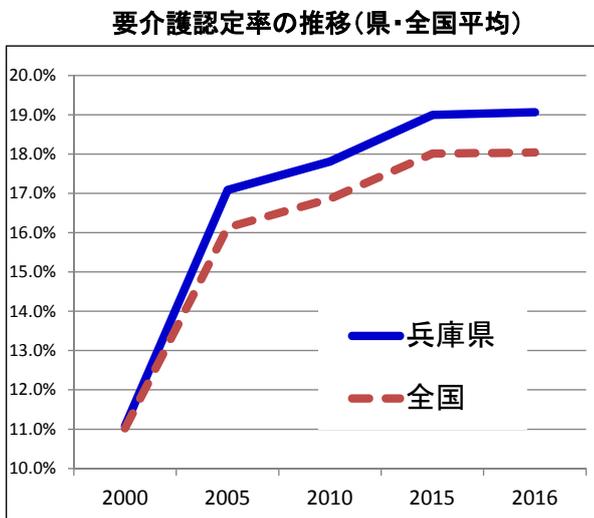


出典：総務省「国勢調査」（年齢別人口）、厚生労働省「介護給付費実態調査」（要介護者認定者数）
 ※年齢区分別の要介護認定率は、年齢別人口に占める要介護・要支援認定者数の割合

13

要介護認定者の増加（2）

- 2025年には団塊の世代（1947～1949 生まれ）が全員75歳以上になり、後期高齢者が増加
- 県内の後期高齢者の要介護認定率は、前期高齢者の約7倍になる見込



出典：厚生労働省「介護保険事業状況報告」
 2000年から2010年までは年報（当該年度末現在）、2015年は12月（暫定）
 2016年は7月（暫定）

出典：兵庫県「兵庫県地域医療構想」

14

医療資源の偏在

- 病床数は全国平均を大きく下回り、地域により偏り
- 西播磨、但馬、丹波地域の産科・産婦人科等で医師数の減少が顕著

圏域別医療資源数(人口10万人対・人)

	一般病床数	療養病床数	医師数
全国	783.1	267.2	244.9
兵庫県	747.9	263.4	241.6
神戸	834.5	206.7	315.7
阪神南	665.1	237.5	279.8
阪神北	634.4	363.7	185.7
東播磨	706.8	233.1	192.1
北播磨	993.9	348.4	201.1
中播磨	760.1	229.8	203.7
西播磨	810.0	265.8	153.6
但馬	706.7	139.6	190.7
丹波	704.4	458.9	174.0
淡路	624.1	679.8	213.3

※ 人口10万人対の数値

出典：一般病床数、療養病床数：2015年4.1兵庫県調べ
兵庫県「兵庫県地域医療構想」

医師数：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」(2014年)

圏域別医療施設従事医師数の変化(2004年－2014年)

圏域	医師数(総数)		産科・産婦人科	
	医師数 (2014年)	増減率 (2004年比)	医師数 (2014年)	増減率 (2004年比)
神戸	4,588	20.9%	164	8.6%
阪神南	2,731	18.0%	110	8.9%
阪神北	1,304	17.7%	52	18.2%
東播磨	1,334	20.3%	62	3.3%
北播磨	554	15.2%	19	▲5.0%
中播磨	1,149	13.8%	52	23.8%
西播磨	403	6.3%	12	▲20.0%
但馬	320	▲2.7%	9	▲35.7%
丹波	187	▲9.7%	7	▲41.7%
淡路	292	1.0%	13	18.2%
兵庫県	12,862	16.7%	500	6.4%

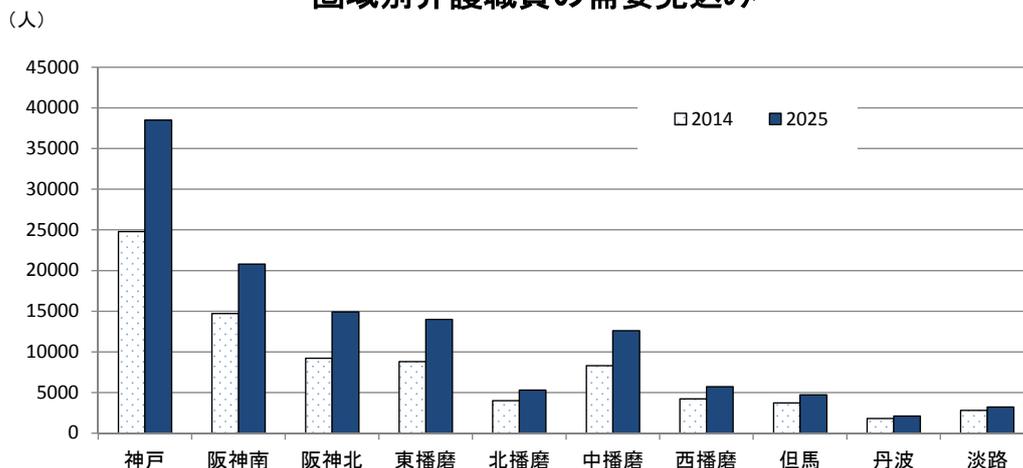
出典：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」(2004年、2014年)

15

介護人材の需要見込 (圏域別)

- 都市部では、75歳以上人口の急激な増加に伴い、全ての介護サービス分野で人材確保が急務
- 多自然地域では、介護人材需要の伸びは緩やかであるが、生産年齢人口が大幅に減少するため、子育て後の女性や中高年齢者の参入促進による介護人材の確保が必要

圏域別介護職員の需要見込み



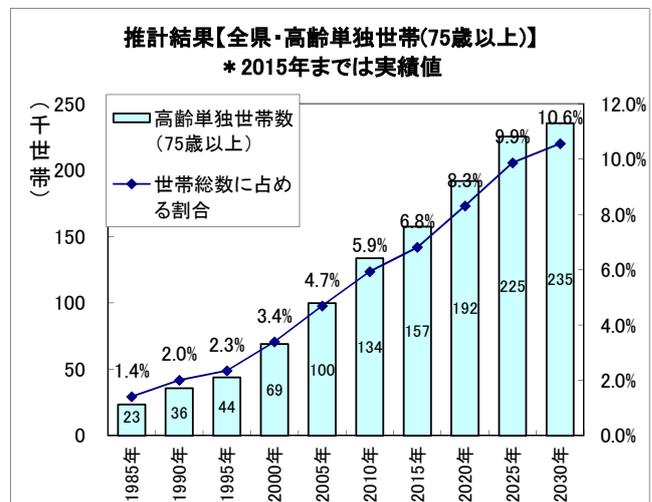
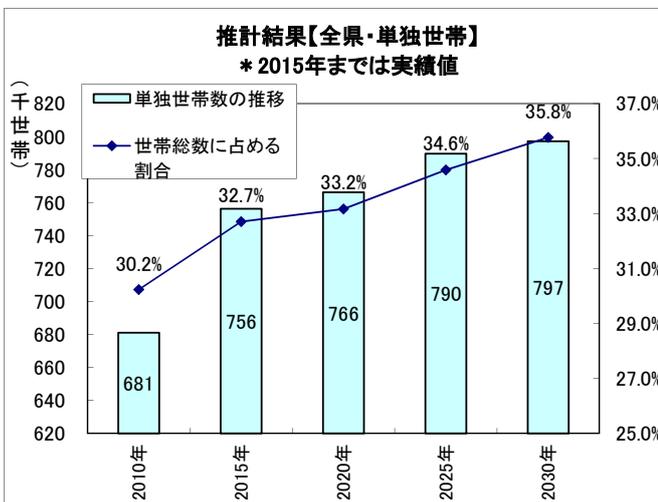
出典：兵庫県「兵庫県老人福祉計画」

16

家族の変容

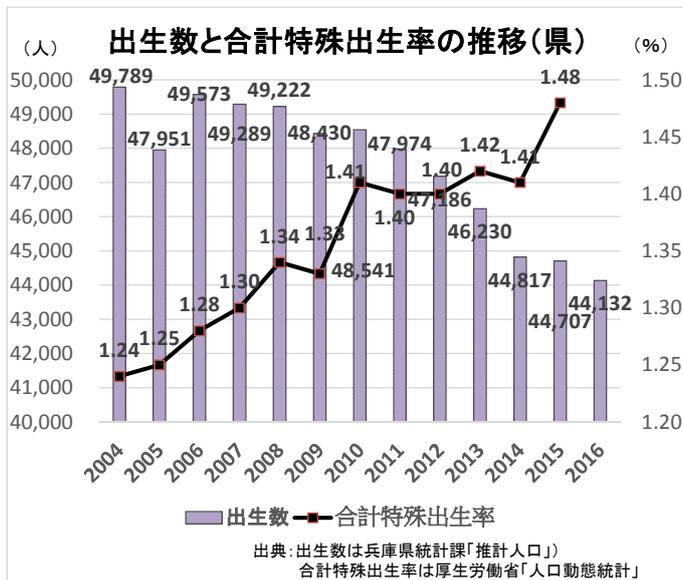
単独高齢世帯の増加

- 単独世帯数は2030年へ向けて今後も増加する見込
- 75歳以上の単独世帯数は、2030年には世帯総数の約10%となり、2015年の1.5倍に増加する見込



出生率・出生数（全県）

- 合計特殊出生率は2004年の1.24を底に回復基調にあり、低下傾向に歯止め
- 県の出生数は2010年から毎年減少し、2016年は44,132人
- 都市部ほど出生率が低い傾向



【県内合計特殊出生率（2015年）】

（合計特殊出生率が高い4市区町）

- 1位 南あわじ市 1.83
- 2位 香美町 1.82
- 3位 豊岡市 1.71
- 4位 西脇市、加東市 1.68

（合計特殊出生率が低い4市区町）

- 1位 猪名川町 0.94
- 2位 神戸市中央区 1.07
- 3位 上郡町 1.18
- 4位 三田市 1.27

（ 国の『ストップ少子化・地方元氣戦略』では、2025年までに希望出生率1.8を実現するとしている。
※希望出生率＝国民の結婚や出産等に関する希望が叶った場合の出生率 ）

地域構造

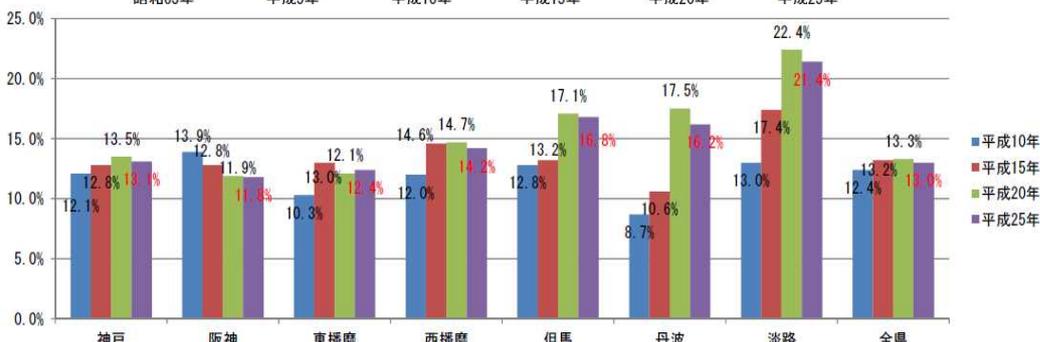
空き家の増加

- 県内の空き家数は一貫して増加し、空き家率は13%前後で高止まり
- 淡路、但馬、丹波で、空き家率が高い

空き家数及び
空き家率の推移(県)



圏域別空き家率
の推移(H10~25)

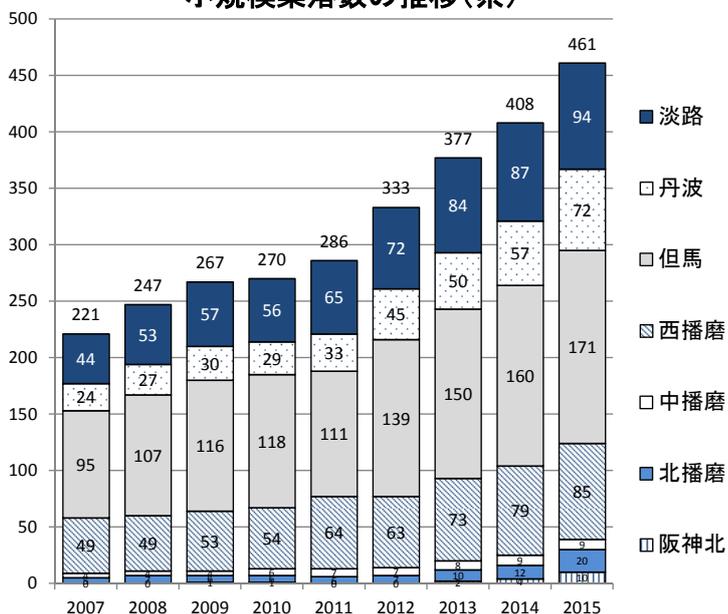


出典：総務省「住宅・土地統計調査」(「兵庫県国土利用計画審議会特別委員会」資料)

小規模集落の増加

- 県内の小規模集落数は増加 (2007→2015で約2倍)
- 多自然地域で非居住化する地域が多数発生する恐れ

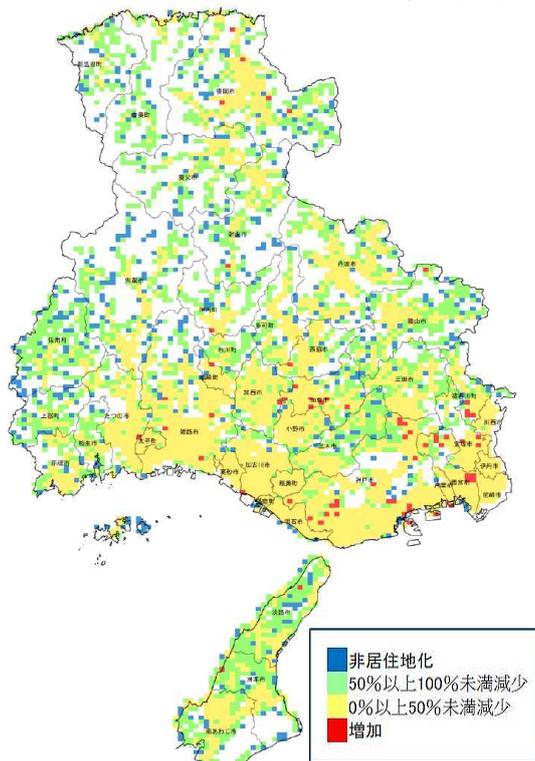
小規模集落数の推移(県)



※小規模集落：世帯数50戸以下で高齢率(65歳以上比率)40%以上の集落(市街地及びその周辺、駅周辺などを除く)

出典：兵庫県

約1km四方(1キロメッシュ)別の将来人口
(2010年→2050年人口増減状況)

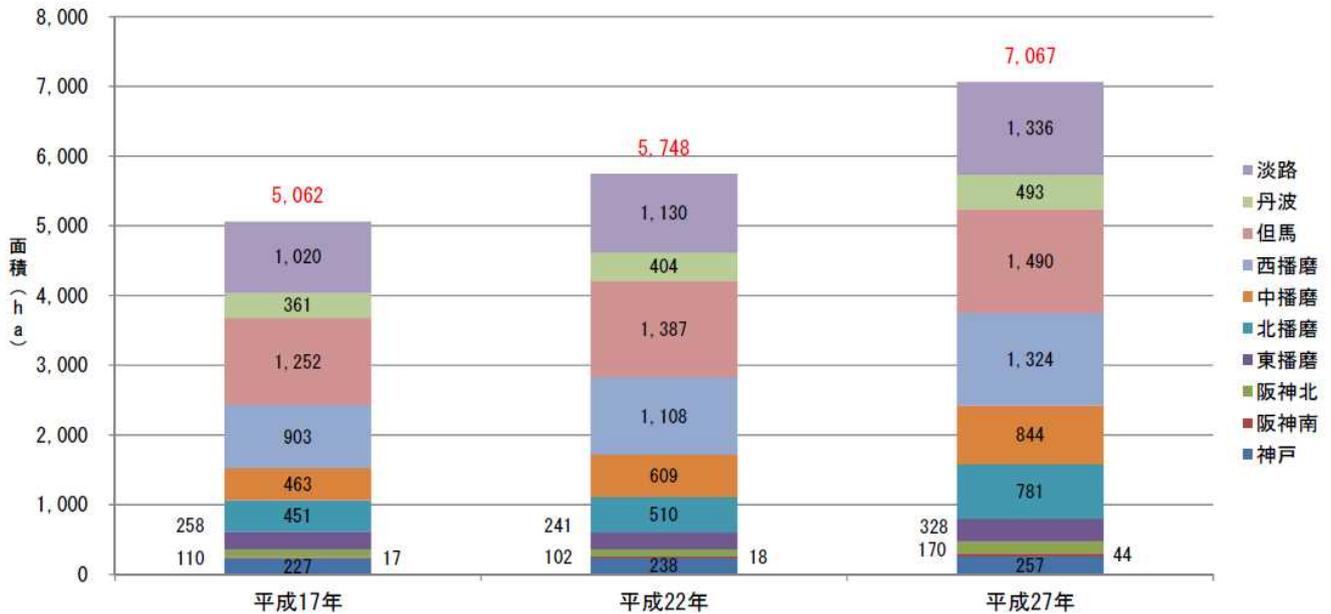


出典：国土交通省「国土のグランドデザイン2050」人口関係参考資料

耕作放棄地の拡大（圏域別）

- 2015年の県内耕作放棄地面積は、7,067ha
- 但馬、淡路、西播磨で多く、3圏域で全県の約6割

耕作放棄地の面積推移（圏域別）



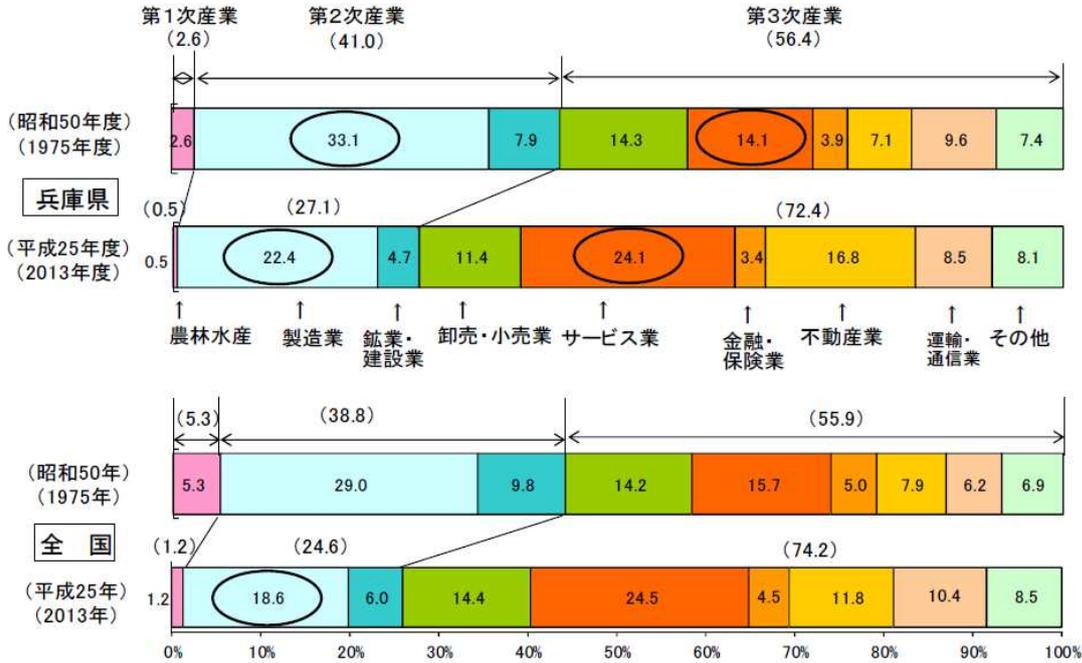
出典：農林業センサス及び同データに基づきまち・ひと・しごと創生本部で作成したデータ（「兵庫県国土利用計画審議会特別委員会」資料）

産業・雇用

兵庫県の産業構造

- 県の産業構造は、第二次産業、特に製造業のウェイトが高いが低下傾向
- 全国・県とも、サービス業や不動産業が大きく進展
- 全国では、運輸・通信業のウェイトが増加する一方、県では低下傾向

総生産の産業別構成

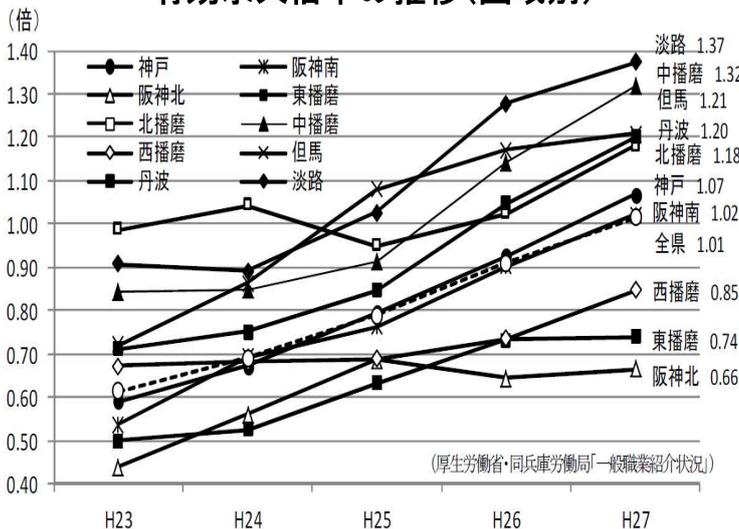


出典：内閣府「国民経済計算」、県統計課「兵庫県民経済計算」

労働力不足の顕在化

- 有効求人倍率は各圏域とも上昇。特に、淡路、但馬、丹波など多自然地域で高い
- 都市部では「介護サービス」の不足が顕著。但馬と淡路では「接客・給仕」「販売」が不足。北播磨と丹波は、他圏域に比べて県内総生産のうち製造業の占める割合が高く(全県22%、北播磨36%、丹波31%)、人材不足も「生産工程」がトップ

有効求人倍率の推移(圏域別)



各地域における人材不足の職業(2015年)

区分	不足数(求職-求人)の多い上位5職種				
	1	2	3	4	5
神戸	介護サービス	販売	看護師	生産工程	保育士
阪神南	介護サービス	販売	看護師	保安	保育士
阪神北	介護サービス	看護師	生産工程	保育士	建設
東播磨	介護サービス	看護師	生産工程	建設	保育士
北播磨	生産工程	飲食物調理	介護サービス	看護師	接客・給仕
中播磨	販売	介護サービス	看護師	建設	生産工程
西播磨	介護サービス	接客・給仕	看護師	飲食物調理	販売
但馬	接客・給仕	販売	看護師	飲食物調理	保育士
丹波	生産工程	販売	保育士	接客・給仕	自動車運転
淡路	接客・給仕	販売	看護師	介護サービス	生産工程
県計	介護サービス	販売	看護師	生産工程	保育士

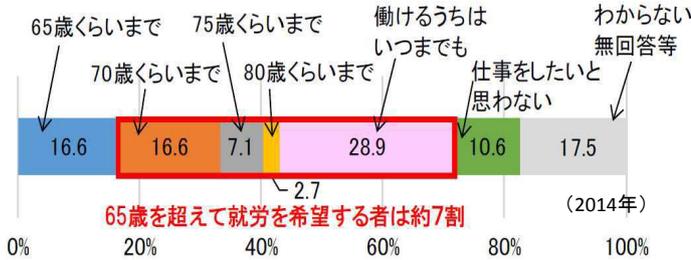
出典：厚生労働省・同兵庫労働局「一般職業紹介状況」

出典：兵庫労働局の資料に基づき兵庫県産業政策課作成

高齢者の活躍

- 60歳以上の男女のうち、65歳を超えて就労を希望する者は約7割
- 県の高齢者就業率は上昇しており、65～69歳では37.9%、70～74歳では22.5%

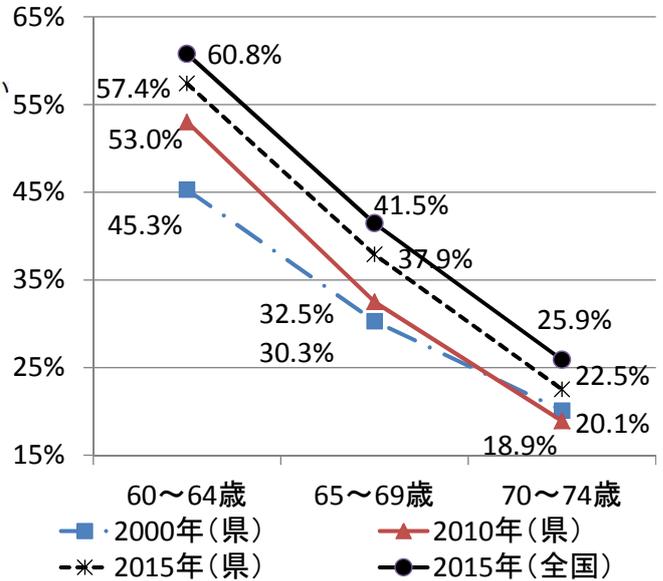
60歳以上男女の就労希望年齢(全国)



※65歳を超えて就労を希望する者の割合は「わからない、無回答等」を除いた者に占める割合。

出典：内閣府「平成26年度高齢者の日常生活に関する意識調査」

60歳以上の年齢階級別就業率

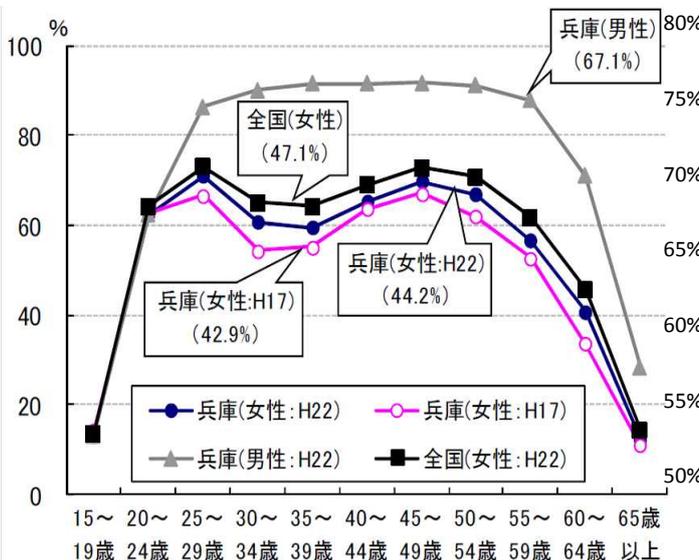


出典：総務省「国勢調査」

女性の活躍

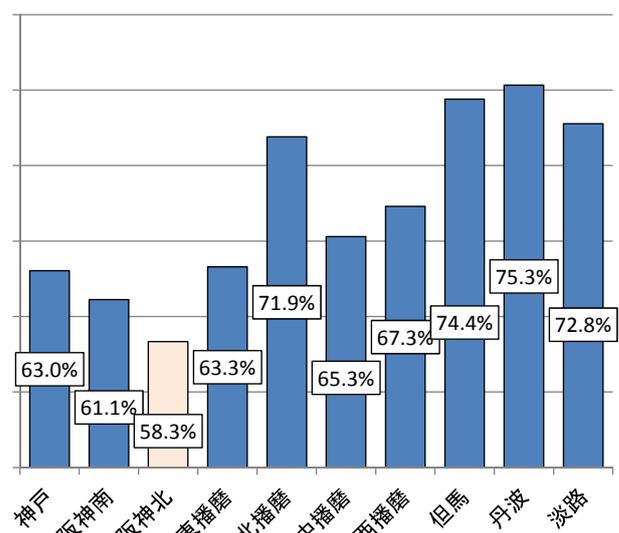
- 県の女性就業率は向上しているものの、全国比ではM字カーブが深い
- 30～40歳代女性の労働力率は、北播磨、但馬、丹波、淡路が70%を上回る

年齢階級別の女性就業率 (県・全国)



出典：総務省「国勢調査」(2005年、2010年)

M字の底の30～40歳代の女性就業率(圏域別)

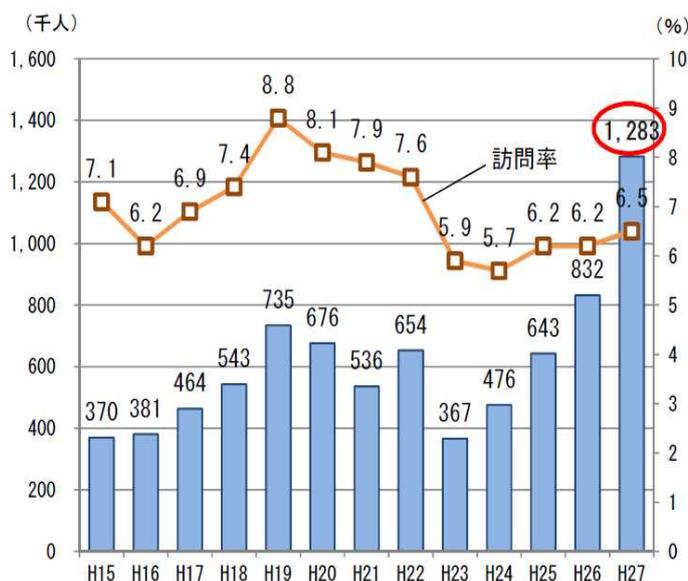


出典：総務省「国勢調査」(2010年)

インバウンドの増加

- 県への外国人旅行者数は、2015年に過去最高の128万人を記録
- 2030年には約400万人をめざす。
- 大阪府・京都府と比べると低水準

県内への外国人旅行者数・訪問率(県)



外国人旅行者数・上位10都道府県(2015年)

		(万人)			
1位	東京都	1028.3	6位	愛知県	193.4
2位	千葉県	876.3	7位	福岡県	187.5
3位	大阪府	716.5	8位	北海道	159.9
4位	京都府	481.6	9位	兵庫県	128.3
5位	神奈川県	223.0	10位	山梨県	124.3

※全国の訪日外客数(JNTO調べ)に都道府県別訪問率(観光庁調べ)を乗じた推計値。

主要国からの旅行者数(2015年)

順位	兵庫県		全国	
	国名	人数(万人)	国名	人数(万人)
1	台湾	30.5	中国	499.4
2	中国	26.0	韓国	400.2
3	韓国	25.6	台湾	367.7
4	香港	12.0	香港	152.4
5	米国	4.6	米国	103.3

出典: JNTO「訪日外客訪問地調査」、観光庁「訪日外客消費動向調査」 29

安全・安心

パリ協定（2016.11.4発効）

- 温暖化防止の目標数値が設定され、2大排出国の米国、中国も参加
- 主要国は温室効果ガスの削減目標を設定、日本は2030年度までに26%削減

パリ協定の概要

	パリ協定	京都議定書
目的	産業革命前からの気温上昇を2度未満に抑え、1.5度未満にするよう努力	大気中の温室効果ガスの濃度を安定化させる
対象国	197カ国・地域	先進国の38カ国・地域(中国不参加、米国途中離脱)
長期目標	今世紀後半に温室効果ガスの排出量を実質ゼロに	なし
目標の達成義務	なし	目標未達なら罰則
途上国への資金支援	先進国が20年以降1000億ドルを下限に拠出することを合意	先進国に拠出義務があることを明記

出典：兵庫県ビジョン課作成

各国の削減目標

各国の削減目標
国連気候変動枠組条約に提出された約束草案より抜粋

国名	削減目標	比較年
中国	GDP当たりのCO ₂ 排出量を2030年までに 60-65% 削減 ※2030年前後に、CO ₂ 排出量のピーク	2005年比
EU	2030年までに 40% 削減	1990年比
インド	GDP当たりのCO ₂ 排出量を2030年までに 33-35% 削減	2005年比
日本	2030年度までに 26% 削減 ※2005年度比では25.4%削減	2013年度比
ロシア	2030年までに 70-75% に抑制	1990年比
アメリカ	2025年までに 26-28% 削減	2005年比

出典：全国地球温暖化防止活動推進センター HP

31

温室効果ガス削減目標（県）

- 2030年度に温室効果ガス排出量を2013年度比で26.5%減
- 業務部門、家庭部門では40%以上削減

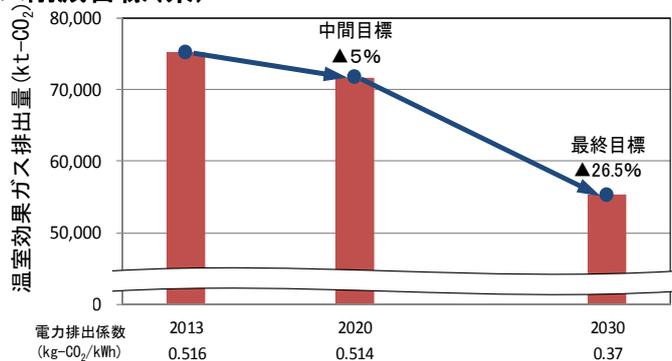
温室効果ガス削減目標（県）

【最終：2030年度温室効果ガス削減目標】
2013年度比で26.5%削減（注1）
（1990年度比24.9%削減、2005年度比27.6%削減）

【中間：2020年度温室効果ガス削減目標】
2013年度比で5%削減（注2）
（1990年度比3%削減、2005年度比6%削減）

（注1）2030年度の電力排出係数を0.37(kg-CO₂/kWh)と仮定（国計画の想定と同様）
（注2）2020年度の電力排出係数を0.514(kg-CO₂/kWh)と仮定（関西電力(株)2012年度(クレジット等調整前)と同様）

※削減目標は「兵庫県温暖化対策推進計画(案)」（現在パブリックコメント実施中）による



2013年度実績、2030年度目標の温室効果ガス排出量の内訳と部門毎の削減率の目安

部門	2013年度【実績】	2030年度【削減目標】		(参考)国の目標 2013比	
	排出量(kt-CO ₂)	排出量(kt-CO ₂)	2013比		
エネルギー 起源CO ₂	産業部門※1	47,952	38,489	▲ 19.7%	▲ 10.6%
	業務部門	6,815	3,822	▲ 43.9%	▲ 39.8%
	家庭部門	8,364	4,766	▲ 43.0%	▲ 39.3%
	運輸部門	8,128	5,941	▲ 26.9%	▲ 27.6%
	その他※2	3,923	3,188	▲ 18.7%	▲ 12.1%
計(A)	75,182	56,206	▲ 25.2%	▲ 23.4%	
吸収源による吸収量(B)	-	▲ 958	▲ 1.3%	▲ 2.6%	
吸収量含む計(A+B)	75,182	55,248	▲ 26.5%	▲ 26.0%	

※1 エネルギー転換部門を含む ※2 非エネルギー起源二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、代替フロン等

出典：兵庫県「地球温暖化対策推進計画(案)」

32

地震発生可能性

○ 30年以内に南海トラフ地震、首都直下地震が発生する確率は70%程度

南海トラフ、首都直下地震、兵庫県周辺の主要4活断層帯で起こる地震の発生確率

地震		マグニチュード	地震発生確率 (30年以内)
南海トラフ	南海トラフで発生する地震	8～9クラス	70%程度
上町断層帯		7.5程度	2%～3%
中央構造線断層帯	金剛山地東縁	6.9程度	ほぼ0%～5%
	和泉山脈南縁	7.6～7.7程度	0.07%～14%
	紀淡海峡－鳴門海峡	7.6～7.7程度	0.005%～1%
	讃岐山脈南縁－石鎚山脈北縁東部	8.0程度	ほぼ0%～0.4%
	石鎚山脈北縁	7.3～8.0程度	ほぼ0%～0.4%
	石鎚山脈北縁西部－伊予灘	8.0程度 もしくはそれ以上	ほぼ0%～0.4%
山崎断層帯	那岐山断層帯	7.3程度	0.06%～0.1%
	主部(北西部)	7.7程度	0.09%～1%
	主部(南東部)	7.3程度	ほぼ0%～0.01%
	草谷断層	6.7程度	ほぼ0%
養父断層帯地震		7.5程度	－
(参考)			
首都直下地震		7クラス	70%程度

出典：地震調査研究推進本部HP、兵庫県「地域防災計画(地震災害対策計画)」を元に兵庫県ビジョン課作成

33

南海トラフ地震による被害想定 (県)

○ 南海トラフ地震の発生により、県では最大約29,100人の死者が出る恐れ

津波の想定

南海トラフ巨大地震津波の被害想定結果の概要

市町名	最高津波 水位 (m)	最短到達 時間 (分)	浸水面積 (ha)	
神戸市	3.9	83	1,586	
阪神地域	尼崎市	4.0	117	981
	西宮市	3.7	112	911
	芦屋市	3.7	111	79
播磨地域	明石市	2.0	115	24
	加古川市	2.2	113	17
	高砂市	2.3	117	86
	播磨町	2.2	110	3
	姫路市	2.5	120	276
	相生市	2.8	120	84
	たつの市	2.3	120	259
淡路地域	赤穂市	2.8	120	489
	洲本市	5.3	45	215
	南あわじ市	8.1	44	964
淡路市	3.1	65	167	

項目	冬の早朝5時 発災	夏の昼間12時 発災	冬の夕方18時 発災
建物被害			
全壊(棟)	約37,200	約36,800	約38,500
(うち揺れ)	約32,000	約32,000	約32,000
半壊(棟)	約177,500	約177,600	約177,100
人的被害			
死者(人)	約23,100	約29,100	約27,450
(うち津波)	約21,100	約27,970	約25,520
負傷者(人)	約36,690	約33,880	約34,340
ライフライン被害	<small>※電力、ガス、及び通信は、住民が当面帰宅することが困難で供給の早期再開の対象とならない「早期復旧困難地域」を除く ※携帯電話の不通ランクは、A：非常につながりにくい、B：つながりにくい、C：ややつながりにくい</small>		
上水道(断水人口)	最大約70万人(1日目)		
下水道(支障人口)	最大約195万人(2日目～1週間後)		
電力(停電軒数)	最大約113.5万軒(1日目)		
都市ガス(復旧対象戸数)	最大約7,000戸(1日目) ※供給停止戸数：約6万戸		
固定電話(不通回線数)	最大約57,000回線(1日目)		
携帯電話(不通ランク)	2市でランクA、39市町でランクB(1日目)		
生活への影響			
避難所生活者(ピーク時、人)	約153,900	約168,700	約165,600
(うち災害時要保護者)	約13,100	約13,100	約13,100
帰宅困難者(人)	－	約591,000	約412,000
孤立可能性のある集落	淡路地域で20箇所、約6,000戸		
長期湛水	尼崎市、西宮市において流入した水のうち約808万m ³ が長期にわたり湛水		

- 1) 最高津波水位は満潮時のもので、T.P.(東京湾平均海面)で表示。
- 2) 最短到達時間は、津波が初期水位より1m上昇する時間。
- 3) 浸水面積は、陸域部の浸水深1cm以上の面積。

出典：兵庫県「南海トラフ地震・津波対策アクションプログラム」

出典：兵庫県「南海トラフ地震・津波対策アクションプログラム」

34

2030年の課題

- 介護施設・在宅ケア体制の不足
- 家族介護の限界
- 認知症患者と要介護認定者の増加
- 医師・診療科の地域偏在
- 地域コミュニティの疲弊、衰退
- 中心市街地の空洞化
- 集落機能を失いつつ人が残るエリア
- 空き家、低・未利用地等遊休資産の増加
- 就業者の減少、都市部への集中 etc.

35

社会を変える要因

- **IoT、人工知能（AI）、ロボット、ビッグデータ等革新的技術の浸透**
 - ・自動走行技術の活用による交通弱者や交通事故、渋滞の減少
 - ・健康・医療情報の利活用による個人に見合った健康・予防サービスの提供
 - ・医療・介護現場の負担軽減
 - ・人手不足の解消（⇔ 職業代替の可能性）
- **交流人口の拡大**
 - ・インバウンドの増大
 - ・地方回帰の流れ
 - ・高速道路網等社会基盤の充実（⇔インフラの老朽化） etc.

36

突破口を見いだす（兵庫の強み）

□ 安全安心

防災・減災文化と充実した安全安心基盤

- 阪神・淡路大震災や度重なる災害で培われた防災減災文化

□ ものづくり

五国に育まれた多種多様な伝統産業、国の近代化を牽引し先端産業として持続する基幹産業

- 川崎重工業（ボーイングのエンジン部品生産）、神戸製鋼（運搬用水素圧縮機械）

□ 多様なイノベーション

世界有数の科学技術基盤、オンリーワン企業、地域資源を活用したビジネスなど技術にとどまらないイノベーションの創出

- マイスター工房八千代、播州織、豊岡鞆

□ 豊かな生活・文化

暮らしやすい街、移住先としての人気、多様な芸術文化の厚み

- 住んでみたい市1位（西宮市）、2016年住みたい田舎1位（朝来市）、宝塚歌劇、永楽館（豊岡市）

□ 平成の御食国

北は日本海、南は瀬戸内海、太平洋に面する多様な気候風土に育まれた多彩な食材

- 神戸ビーフ、淡路島たまねぎ、兵庫のり、黒大豆、山田錦、日本酒、ずわいがに、いかなご 等

□ 多文化共生

神戸港を中心に国際性高い地域として発展

- 145カ国、9.7万人の外国人県民、外国人学校（12校）、FMわいわい（多言語情報発信）

□ 人づくり

新たな課題に果敢に挑む人や企業を多数輩出、「進取の気性」に富む兵庫人

- 高田屋嘉兵衛、賀川豊彦、白洲次郎、手塚治虫、植村直己

37

突破口を見いだす（神戸の強み）



○ 先端技術の集積

神戸医療産業都市には300社以上の医療関連企業が集積し、理研多細胞システム形成研究センターやスーパーコンピュータ京による先端的な研究も進む



○ 多文化共生

神戸港を中心に国際性の高いまちとして発展し、現在も外資系企業の本社が多く立地するなど、多様な人、文化などを包摂



38

突破口を見いだす（阪神南の強み）

○住みたくなるまち

西宮市は「住んでみたいと思う行政市区」で4年連続トップ、芦屋市は屋外広告物規制への取組などまちの魅力に磨きをかけている



○オンリーワン企業

電力会社の送電線に設置する「避雷器」で全国シェア60%の音羽電機工業（尼崎市）やパッケージ基板向け銅表面処理剤では世界トップシェアのメック（尼崎市）など多様なオンリーワン企業が存在

39

突破口を見いだす（阪神北の強み）

○芸術文化の蓄積

阪神間モダニズムに始まり、平成26年に100周年を迎えた宝塚歌劇や「漫画の神様」手塚治虫を生み出した芸術文化の蓄積が今も息づく



○豊かな自然環境

今なお豊かな生物多様性を持つ北摂の里山を活用し、地域まるごとミュージアムなど様々な取組を展開



40

突破口を見いだす（東播磨の強み）

○日本の発展を支えた産業の蓄積

川崎重工業や神戸製鋼所、三菱重工業など日本の発展を牽引してきた分厚い産業の蓄積が存在



○ものづくりの基盤

明石高専（明石市）が、2015年の高専ロボコンでベスト4となるなど、ものづくりの担い手を育成する機関が存在



41

突破口を見いだす（北播磨の強み）



○播州織

平成20年に地域ブランドに認定され、近年は神戸芸術工科大学との共同プロジェクトなどに取り組む



○6次産業化

マイスター工房八千代（多可郡）は、地元食材を使った巻き寿司を事業化し、成功



42

突破口を見いだす（中播磨の強み）

○増加する交流人口

県内の移住者実績トップ神河町では、シングルマザー限定の移住支援策など独自の取組を開始



安心して子育てできるまちです。

福田さんご一家 2010年移住

顔見知りもなく最初は不安だったのですが、地域の人が本当にみんなやさしくて、ここにずっと住もうと決めました。子育てサークルに参加したことで友だちができて、幼稚園、小学校まで親なじみのお母さんたちと一緒にとても心強いです。これから新しく移住してこられる家族に、まちの良さを伝えていきたいです。



○地域資源の活用

姫路市では、世界遺産姫路城、B級グルメなど地域資源の活用に取り組んでいる

43

突破口を見いだす（西播磨の強み）



○先端科学技術基盤

大型放射光施設SPring-8では、2016年度のノーベル賞医学生理学賞、化学賞の研究にも貢献するなど世界的な研究成果を着実に生み出している

○新たな特産品への挑戦

武内食品(たつの市)は、地元の契約農家で自然栽培される最高級品質の大豆と生にがり为原料に、伝統技術を駆使したプレミアムとうふづくりに挑戦



44

突破口を見いだす（但馬の強み）



○豊岡鞆

文政7年（1824年）創業のエンドー鞆（株）は「鉄道の旅」をテーマに、優れたデザインを持ち、機能性と耐久性にも秀でた世界No. 1のキャリーバッグづくりに挑んでいる

○城崎温泉

ミシュラン・グリーンガイド・ジャポンに城崎温泉が「寄り道をして訪れるべき場所」を意味する二つ星（★★）として掲載されるなど、外国人観光客の人気スポットに



45

突破口を見いだす（丹波の強み）

○古民家の宿泊施設への転換

国家戦略特区の規制緩和を活用し、篠山市内の古民家を宿泊施設に改修。篠山城下町ホテルNIPPONIA（ニッポニア）として平成27年開業



ひかみ
低温殺菌牛乳



○特産品の新たな組み合わせ

丹波乳業（丹波市）は、丹波の老舗酒造で仕込まれた甘酒と同社の牛乳のみを使用した甘酒ミルクを製造

46

突破口を見いだす（淡路の強み）

○都会に近い多様な魅力があふれる別天地

◇御食国あわじ

食の宝庫としての優位性を生かし、様々な食を提供



◇日本遺産の活用

文化庁の日本遺産に認定された「古事記の冒頭を飾る『国生みの島・淡路』～古代国家を支えた海人の営み～」を活用し、島内3市、関係機関が連携を図りながら様々な活動を展開

